

「巻頭特集」鈴鹿市男女共同参画センター

誰もが輝ける 社会を目指して

6月23日～29日は、男女共同参画週間です。昨年度で開館から15年を迎えた鈴鹿市男女共同参画センターでは、性別関係なく、社会の中で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、さまざまな取り組みをしています。

男女共同参画社会の実現には 市民の参画が不可欠

男女共同参画社会を実現するための活動拠点となっている「鈴鹿市男女共同参画センター」が、市民の積極的な参画が不可欠です。

「当センターは、そうした理想的な社会をかたちづけていくための情報提供とともに、市民の男女共同参画を目指す機会を高めていく役割を担っています」と話すのは、

「当センターは、そうした理想的な社会をかたちづけていくための情報提供とともに、市民の男女共同参画を目指す機会を高めていく役割を担っています」と話すのは、



男女共同参画社会の実現に向け、さまざまなテーマの講座やセミナーなどを開催しています

画課長の北川肇さん。市民の積極的な活動が、男女共同参画社会を実現させるための大きな力になると続けます。

現在、市内で男女共同参画に関する学習や活動に取り組む、同センターの設置目的に賛同している登録団体は約30。子育てに関する活動をするNPO法人や男性向けの料理教室、高齢者を対象としたダンスグループなど、市内のさまざまな団体が所属しています。年に3回、すべての団体が一堂に会する登録団体会議を開催。研修や交流を通して、各団体のネットワーク化に取り組んでいます。



男女共同参画課 課長 北川 肇さん

各種講座やセミナーを通して 男女共同参画の大切さを伝える

市民団体を対象とする交流支援だけでなく、市民一人ひとりに向けた講座や講演会、セミナーの開催にも力を入れています。毎年冬には、市民の公募によって実行委員会を組織し、同センターと協働して「ジェフリーふえすた」を開催。センターの施設全体を使い、ゲスト講師による基調講演のほか、各部屋でさまざまなイベントを行います。大人から子どもまで、誰もが楽しめる企画を充実させており、300人に近い来場者でにぎわう年もあります。

女性向けには、「就職・再就職支援スキルUPセミナー」や「女性活躍推進セミナー」など、幅広いテーマの講座やセミナーを開催。毎年2回ほど、地域の各公民館と連携し、男性が学ぶ料理教室といった「公民館出前講座」も開催しています。

「男女共同参画社会を目指すためには、女性だけでなく、男性も含めた地域全体の理解や協力が不可欠です」



(左)開館中は誰でも利用できる「交流スペース」(右)貸し出しも可能な「図書コーナー」

「自分らしく生きられるように」 多様な取り組みで女性を応援

今年度からは、市内のさまざまな分野で活躍する女性を応援する「自分らしく生きる女性」の募集を本格的に開始。市民に向けて広く告知し、同じような立場の女性との課題共有や共感を育んでいこうとしています。

「鈴鹿市は製造業が盛んですが、そういう職場では、女性の社員がまだ少ないのが現状です」と話すのは、男女共同参画課の兼子妙美さん。働く女性にとっての目標やロールモデルを提示するとともに、地域の各企業に対して、女性が働きやすい環境づくりに意識を向けてもらいたいと話します。

毎年6月23日から29日までの1週間「男女共同参画週間」。鈴鹿市文化会館での映画祭や街頭啓発活動、

「と話すのは、男女共同参画課の田中浩司さん。今年1月には、新たなセミナーとして「石三鳥」遊べる学べる整理する」を開催。母親が整理

や収納術を学び、その間に父親と子どもが英語の歌に合わせて体を動かすなど、家族で参加できる企画を初めて行いました。

市役所でのパネル展示など、さまざまな企画を予定しています。

「多くの方に男女共同参画社会への興味を持ってもらうためにも、まずは映画祭に足を運んでもらったり、当センターを利用してもらったりするのが大切」と北川さん。センター内には、地域の集まりや友人同士の勉強会にも使えるホールや研修室のほか、授乳室や子ども用トイレなども備えた「こどもの部屋」を完備。「子育て中の方をサポートするのも当センターの役割。ぜひ気軽にお立ち寄りください」と呼びかけます。

ほかにも毎月1度、情報紙「ジェフリー」や「こどもの部屋」を発行するなど、幅広い取り組みを実践している鈴鹿市男女共同参画センター。地域の全員がイキイキと暮らせる社会の実現に向けて、皆さんも同センターの活動に注目してはいかがでしょうか。



3月に行われた「女性活躍推進セミナー」。多くの参加者が集まりました



授乳室、子ども用トイレのほか、玩具やベビーベッドなどもある「こどもの部屋」。子連れの方は自由に利用することができます

information

鈴鹿市男女共同参画センター

鈴鹿市神戸2-15-18 かんべ再開発ビル3F
TEL 059-381-3113
休館日:月曜・第3火曜・祝日ほか

三重県内男女共同参画連携映画祭2018

6/23[土] 13:30~15:15 (開場13:00)

上映作品:トリガール!
場所:鈴鹿市文化会館(けやきホール(鈴鹿市飯野寺家町810))
チケット:500円(男女共同参画センター他に販売)
定員:500人
問い合わせ:059-381-3113

女性のための電話相談(相談無料・秘密厳守)

TEL 059-381-3118 [直通]

家庭や地域での人間関係、職場でのセクハラ、生き方などの心の悩みについて、女性相談員が相談をお受けします(原則火・木・金曜対応)



鈴鹿市男女共同参画センターがあるのは、かんべ再開発ビルの3階。相談、交流・支援、学習・研修、調査・研究、情報収集・提供という5つの柱を掲げて活動しています